

# アクセスMAP

## 主なアクセス

- 青森 八戸**
  - 三陸沿岸道路 (八戸是川IC~宮古北IC) 経由 約2時間(130km)
  - JR八戸線~三陸鉄道宮古駅 約3時間25分
- 岩手 宮古**
  - 三陸沿岸道路 (宮古中央IC~鳴瀬奥松島IC) 経由 約3時間50分(240km)
  - 東北自動車道 (盛岡南IC~泉IC) 経由 約3時間30分(250km)
  - 岩手県北バス(宮古駅前~盛岡駅前)~東北新幹線(盛岡駅~仙台駅) 約3時間10分
- 宮城 仙台**
  - 仙台南部道路~常磐自動車道(長町IC~仙台若林JCT~いわき中央IC) 経由 約2時間20分(160km)
  - JR仙台駅~いわき駅(特急利用) 約2時間10分
- 福島 いわき**

※所要時間はおよその目安で、列車や道路状況により異なります。

## 復興道路 & 復興支援道路で行こう!

震災から約10年後、東北の沿岸エリアをつなぐ全長約570kmの復興道路・復興支援道路が全線開通しました。沿岸部へのアクセスが劇的に変化しただけではなく、なんと通行は一部区間をのぞき無料!(仙台港北IC~鳴瀬奥松島IC間は有料)沿岸部をめぐる際はぜひ利用しましょう。

- 「復興道路(三陸沿岸道路)」は、八戸・久慈自動車道、三陸北縦貫道路、三陸縦貫自動車道の総称
- 「復興支援道路」は、宮古盛岡横断道路、東北横断自動車道釜石秋田線、みやぎ県北高速幹線道路、東北中央自動車道(相馬福島道路)の総称

より早く、より近くなった沿岸部へ

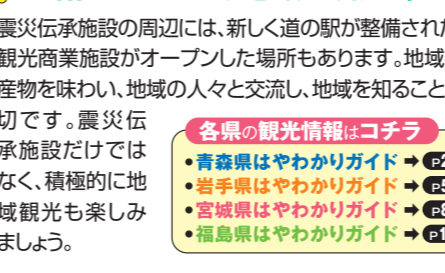
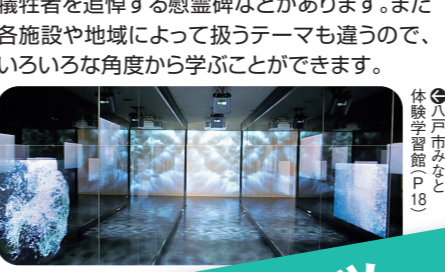
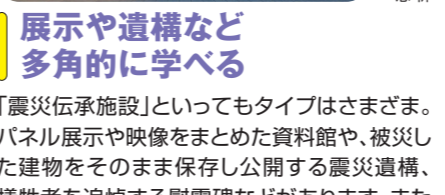


# 東日本大震災

# 震災伝承施設 (被災地を訪れ、学びにつなげよう)

## はやわかりガイド

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、太平洋沿岸地域は甚大な被害を受けました。震災の教訓を伝え、未来の命を守るため、東北各地の震災伝承施設や慰霊・追悼の場を巡って、学ぶ旅に出かけてみませんか?



### 「3.11伝承ロード」として訪れやすい工夫も



点で存在している震災伝承施設を「3.11伝承ロード」としてネットワーク化。青森・岩手・宮城・福島の各県ごとにまとめられたリーフレットでは、イラストマップとともに施設が一覧され、目的や時間に応じて効率的に施設同士を訪れやすいように紹介されています。

▶3.11伝承ロード推進機構HP <https://www.311densho.or.jp/>



### 震災伝承施設とは?



### 語り部などから直接お話を聞くことも

震災伝承施設として登録されている多くは、施設ガイドや語り部プログラムを提供し、来訪者の理解をより助けてくれます。公共交通や車でアクセスでき、大型バスの受け入れが可能な施設も多く、教育旅行にも活用されています。

### このページもCHECK

- 岩手県・釜石「うのすまい・トモス」→P.6
- 宮城県・南三陸「南三陸町東日本大震災伝承館 南三陸311メモリアル」→P.8
- 福島県・富岡「ふたばいんふお」→P.10

### プランニングのコツ

#### 道の駅や観光施設も一緒にまわって地域を知ろう

震災伝承施設の周辺には、新しく道の駅が整備されたり、観光商業施設がオープンした場所もあります。地域の特産物を味わい、地域の人々と交流し、地域を知ること大切です。震災伝承施設だけではなく、積極的に地域観光も楽しみましょう。

#### 各県の観光情報はコチラ

- 青森県はやわかりガイド → P.20
- 岩手県はやわかりガイド → P.50
- 宮城県はやわかりガイド → P.88
- 福島県はやわかりガイド → P.108

#### 宿泊施設は少なめ。事前予約がマスト

東北の被災地域は震災以前から宿泊施設が少ないエリアでしたが、震災の影響などで閉鎖された施設もあります。事前に宿を予約するのが安心です。また万が一の場合を想定し、宿泊先に到着したら避難ルートを確認するようにしましょう。

#### アクセスは車がベター。公共交通は本数に注意

東北の被災沿岸部は公共交通で訪れることも可能ですが、比較的本数は少なめ。時間に制約なく、自由にまわりたいなら車がオススメです。多くの施設では駐車場が整備されています。比較的大きい街であれば、新幹線から乗り継いで電車やバスで行くのも便利です。

#### しっかりまわるなら1日3~4カ所

施設の大半は太平洋沿岸部にあり、なかには徒歩圏内の距離に施設が集まっているエリアも。展示施設や震災遺構、慰霊・追悼の場などさまざまな施設を巡ることで、多角的に震災を学ぶことができます。マップなどを参考にしながら訪れる施設を選びましょう。